

■保守と点検

- 使用後は、各部にネジのゆるみやコードなどに異常がないか点検してください。
- 本体やコードなどは乾いた布などで汚れを拭き取りいつも清潔に保ってください。
絶対に、水を掛けないでください。防水構造ではありません。
- 揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでは洗ったり、拭いたりしないでください。
- 保管は屋内の直射日光が当たらない、涼しいところで保管してください。また、小さいお子様の手が届かないところで落下などの恐れの無い安定したところで保管してください。

RYOBI®

トランサ

T-32 T-32DX

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買い求めの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のため、お断りなく製品仕様が変わることがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社



T-32



T-32DX

もくじ

・安全上のご注意	1
・各部の名称	5
・仕様	5
・ご使用方法	6
・保守と点検	7

このたびは、リヨービトランサをお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

■安全上のご注意

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

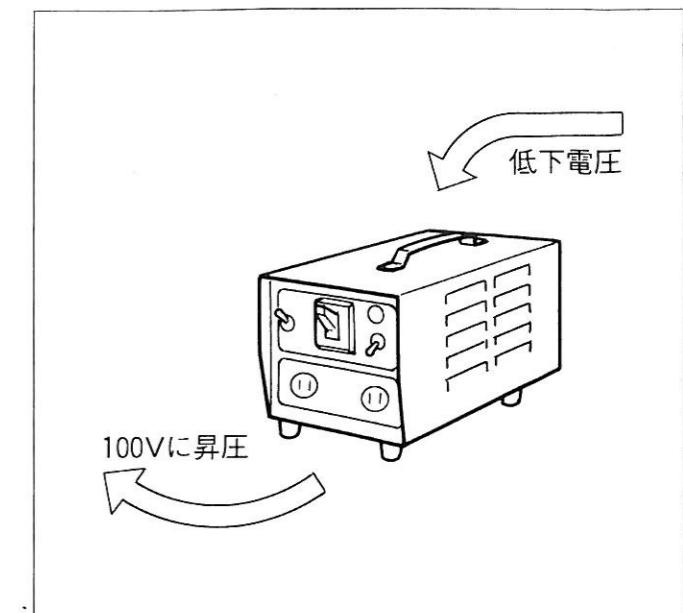
△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・機械を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、機械やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、機械の能力に合った速さで作業してください。

■ご使用方法

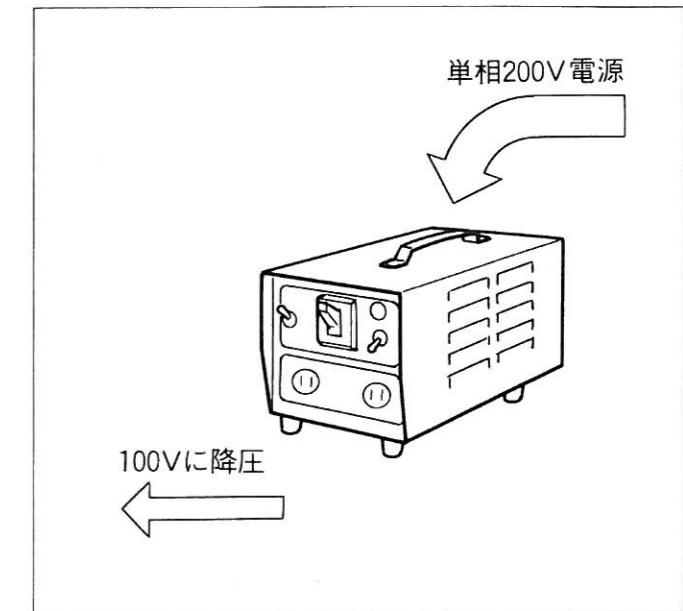
①低下電圧を100Vに昇圧

- トランサ後面コードを低下している100V電源に接続します。
- スイッチを100Vの表示側(下)にします。
(但しT-32DXは自動切換)
- オートブレーカーを「入」(上)にします。パイロットランプが点灯します。
- 出力切換は(H)で115V、(L)で105Vとなります。
- トランサ前面コンセントから、昇圧された100Vの電圧が引出せます。



②単相200V電源を100Vに降圧

- トランサ後面コードを単相200V電源に接続します。
- スイッチを200Vの表示側(上)にします。
(但しT-32DXは自動切換)
- オートブレーカーを「入」(上)にします。パイロットランプが点灯します。
- トランサ前面コンセントから、降圧された100Vの電圧が引出せます。



△ 警 告

- T-32は誤ってスイッチを100V表示側(下)にしますと電圧が200V以上に上がり、本体の故障原因となります。異常回転や過熱から火災の原因となったり、感電事故の恐れもあり危険です。必ず「上側」にしてください。

入力電圧自動切換装置(T-32DXのみ)

- T-32DXは回路により、入力電圧90~100Vと単相200Vを自動的に切換えますので、スイッチ類の切換の必要はありません。

△ 警 告

16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・機械や電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械や工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術ない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

トランサご使用上のご注意

先に機械として共通の注意事項を述べましたが、トランサとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

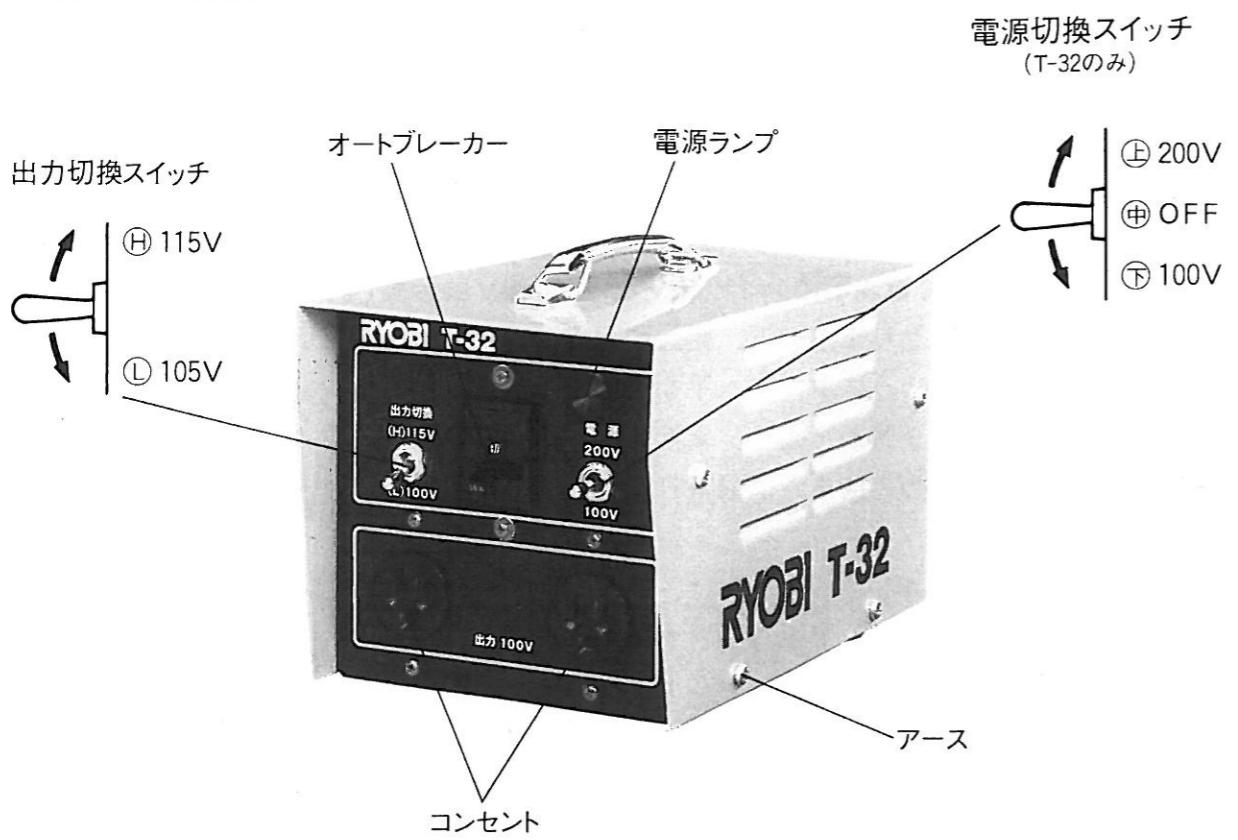
△ 警 告

1. 設置場所は風通しの良い場所に設置してください。
可燃物のない場所に設置して下さい。
2. 200V電源に接続して電源切換スイッチを誤って100V表示側(下)に切換えますと本機が焼損し、火災の原因になりますので、絶対に誤った切換えをしないでください。(T-32のみ)
3. 使用時、移動しないように本体を水平な安定した場所で確実に固定してください。
4. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または最寄りのリョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
5. 電源コードを電源にさし込むときには、必ず電源切換スイッチのOFF(中立位置)とオートブレーカーが「切」(下)であることを確認して下さい。
6. コードの取外しは必ず電源側コンセントを先にはずし、次にトランサ側コンセントをはずしてください。
7. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心コードを使用してください。アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
8. 使用機器にアースの必要があるものはアースをしてください。
9. 本機は仮設用です。
常設用として使用されますと、過熱などから火災や思わぬ事故の原因となりますので絶対に行なわないでください。
10. 使用しないときは、必ずトランサのオートブレーカーを切(下)の位置、電源切換スイッチをOFF(中立)の位置にし、必ずトランサの電源コードをコンセントから外すようにしてください。おこたると火災の原因になります。

△ 注 意

1. 工具類や付属品及び電源の接続は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないと、はずれたり、けがの原因になります。
2. コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
3. ヌレた手で機体や電源コード、プラグなどに触れないでください。
感電の恐れがあります。
4. 発電機では絶対に使用しないでください。
発電機で使用すると、機械内部回路の損傷の原因になります。

●各部の名称(写真はT-32)



■特長

交流電圧を昇圧させたり、降圧させたりします。低下した電圧事情の現場に於いて、電動工具に必要な適正電圧を得る事ができ、作業効率のアップが計れます。

■仕様

容 量	3 KVA	使 用 率	100%
電 壓	(入力)→(出力)		
	单相	200V→100V	
		90V→(L)105V、(H)115V	
定 格	1 時間定格→30A		
	連 続 定 格→25A		
周 波 数	50Hz/60Hz		
接 地 型 構 造			
重 量	9.5kg		

△ 警 告

7. 作業に合わせて機械を使用してください。
 - ・小型の機械やアタッチメントは、大型の機械で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部などに巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って機械を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で機械を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、機械や電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。